

おっぞんくんを既設銅管に接合する場合の注意事項

1 配管内の旧機器残留冷媒(R22及び冷凍機油：スニソ)の除去

各機器メーカーの既設管利用のマニュアルに従って作業を行って下さい。

①既設機器の撤去前には正しくポンプダウンを実施して下さい。

②ポンプダウン時の冷媒回収量が不足し、配管内に残留している恐れのある場合やポンプダウンが出来ない場合は、冷媒回収装置で冷媒を完全に回収後、必ず配管洗浄を実施して下さい。

残留冷媒が完全に除去されない場合は、おっぞんくんの気密性能を低下させ、冷媒漏れを起こす恐れがあります。

2 管の点検と確認

既設管に、傷や変形が無いことを確認して下さい。

既設の管や分岐管などの肉厚が、新規機器の条件に適合しない場合は、既設管の再使用は行わないで下さい。

3 既設管の保温材の状態

保温材は長期使用で、劣化していたり、隙間が開いている場合は、結露を発生させます。保温材の状態を確認して、異常がある場合は補修など措置して下さい。

4 酸化物や異物の除去

銅管の表面の付着物は400番以上の研磨布又はエメリー研磨紙などで、銅管の表面が光る程度で軽く研磨をして、付着物を除去して下さい。

酸化物の付着管



400番の研磨布で接合端部を研磨

銅管は管端から50mm位までの差し込み部を磨く

